



第 1250 回例会報告

【12月は家族月間】

平成 23 年 12 月 8 日(木) 雨

会長挨拶

会長 三村昌暉

◇幹事報告◇

家族月間にあたって

本日は、2600地区副幹事、熊谷則之さんにお出でいただきました。2600地区の「月信」を担当されておられます。後ほど「月信」発行についての卓話をいただきます。宜しくお願い致します。

●家族月間にあたって

12月は家族月間です。1995～96年度ハート・ブラウン会長は、世界平和は地域、家族から始まるとの考えを表明いたしました。そして1995年11月のRI理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定することになりましたが、2007年7月の同理事会において、2003～04年度ジョナサン・マジアベ会長が家族の重要性を強調していることをたたえ、理事会は12月を「家族月間」と指定し、これに伴って「家族週間」を廃止いたしました。

●家族月間の意義とその展開

この月間は、ロータリアンにプロジェクトや活動、行事を通じて家族と地域社会への献身を示すとともに、クラブおよび地区はロータリー家族委員会を設置し、会員とその配偶者や子供、親戚、元ロータリアン、亡くなったロータリアンの配偶者等に対する家族的な心配りや善意の行動は、さまざまな考えを協力的に分ち合い、会員を増強し、退会を防止し、組織を強化し、更に人道的奉仕活動を発展させることによって、社会の信用を得、活力ある豊かなロータリーの発展につなげることが期待されます。

ロータリー家族はロータリアンの配偶者や子供たち、ロータリー財団プログラムの参加者や学友、世界中のロータリー社会が実施した何万というプログラムの一翼を担った人々など、私達の仕事にかかわったすべての人々や子供たちが含まれます。この偉大な「ロータリー家族」と共に奉仕プロジェクトを行なうことがすすめられています。

【報告事項】

12月12日は当クラブの創立記念日であります。チャーターメンバーをはじめ会員の皆さん、今年は特に、未曾有の大震災があり、会場の変更がありなど…それぞれに思いをはせて見て下さい。

【受領文書】

ウィークリー＝岡谷RC・諏訪RC・大津中央RC

第 1250 回例会

月信見方、読み方

クラブ会報委員会

第2600地区都筑ガバナー事務所の「月信」発行の担当をなさっています熊谷則之地区副幹事をお招きし、月信発行の苦労話や製作過程のお話をお聞きました。

同時に「ロータリーの友」の編集に関し年5回ほど東京に召集される話もユーモアたっぷりにお話いただきました。

熊谷則之地区副幹事は、その温和な性格と謙虚な性格

■ニコニコBOX

24名	26,000円
累計	604,000円
目標額	130万円
達成率	46.4%

■出席報告

会員数	33名
出席対象	33名
出席者数	25名
出席率	75.7%
前回修正	81.8%

■今週のことは

10年前の今日「真珠湾攻撃」において日米開戦となりました。新会員をアタックし電撃作戦で勝利を目指します。

原 昭一

■ 次回のプログラム

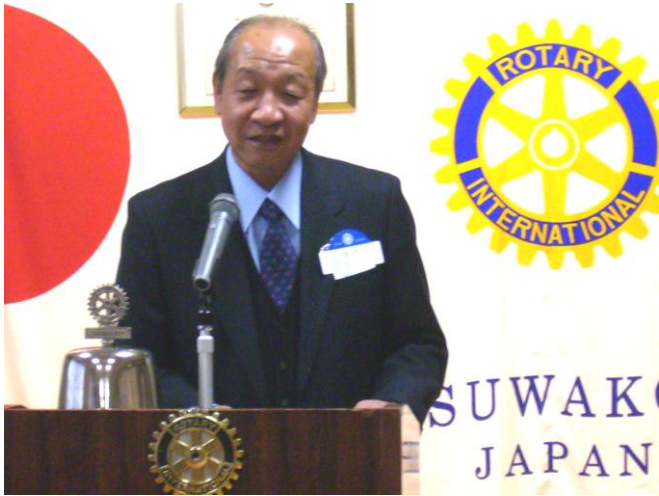
12月22日

クリスマス家族夜間例会



がにじみでお話心温まる30分でした。

また、「月信」や「ロータリーの友」に記載されるための手続きなども詳しく教えていただき、諏訪湖ロータリークラブも今後投稿してみたいと思いました。



東日本大震災支援にご協力ください

壊滅的な被害を受けた被災地は長期にわたり支援を必要としております。

諏訪湖ロータリー・クラブは、機会あるたびに支援活動を行っておりますが、今年のクリスマス例会では、クラブで準備してプレゼントを、皆さんに有償で受け取っていただく計画を立てました。支援金はロータリー財団を通じて被災地に届けられます。

ロータリー財団より、1,000ドル以下でも個人の実績として受け取る内容の通知がまいりました。

この企画は、当初会員の皆様にプレゼントの品を準備していただき、それを他の会員が有償で受け取る計画でした。この計画ですと仮に3,000円の品を用意し、同じく3,000円で受け取ったとしたら、負担総額は6,000円ですが支援金は3,000円だけとなります。プレゼントの品をクラブで準備すれば、6,000円がそのまま支援金となり、個人の実績となりますから、計画を変更した次第です。

プレゼントは会員の協力を得、厳選された素晴らしい物ばかりです。

支援金の目安は5,000円ですが強制されるものではありません、しかし少なくともクラブで負担したプレゼントの費用位はご協力頂けるものと考えています。

当日は個々に支援額を記入し年内に財団に送ります、ご協力をお願い致します。

**どんなプレゼントが
出てくるか
ぜひご期待ください!!**